

第59号

堺すずめ踊り

仲

圀

巢

連

な い す

陣 ENGINE



2024年 1月 1日発行

ナイス連のみなさま、明けましておめでとうございます。

2024年今年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。「春の日差しが、あまねく成長を助く年」という意味があるそうです。

「陰陽五行思想」から見ると、「甲辰」は、十干が「甲（きのえ）」、十二支が「辰（たつ）」となります。「甲」は十干の1番目、生命の循環で言えば最初に位置し、生命が誕生した状態を表しています。そして「甲」は「きのえ」、「陰陽五行思想」では「木の兄」と表記して、これは「木の陽」を意味します。五行の「木」は生長、柔和、曲直、春の象徴ですね。「陽」は積極的や大きいといった意味です。つまり「甲」は、急成長、寛大、屈曲、発展といったことを表していることとなります。

「辰」は十二支の5番目で、草木の成長が一段落し、整った状態を表しています。要はすべての新芽が葉を広げ、降り注ぐ日の光を全身で浴びている中春のイメージなんですね。

「辰」は「陰陽五行思想」では「木の陽」に分類されます。前述したように五行の「木」は生長、柔和、曲直、春の象徴ですね。つまり「辰」も、急激に成長することを表しています。これらが十干と十二支のそれぞれが意味するところですので。そして「陰陽五行思想」で重要になるのが、その組み合わせです。関係性によっては、お互いに打ち消し合ったり、強め合ったりといったことが起きてしまいます。

「甲」と「辰」の関係は、「木の陽」が重なる「比和」と呼ばれる組み合わせで、同じ気が重なり、その気は最も盛んになります。その結果が良い場合にはますます良く、悪い場合にはますます悪くなるという関係性となります。

このように2024年の干支「甲辰」を「陰陽五行思想」で読み解くと、「春の日差しが、あまねく成長を助く」となります。成長を助ける春の日差しは、表に出ているものばかりではなく、日ごろ隠されていたものにまで寛大に広く注がれ、成長や変化を促すことを表しているのです。目に見える表だった行いも、これまで人目に付かなかった行いも、ありとあらゆるすべてに光が当てられ、大きく変化していく年になりそうです。

人によっては、これまでの努力が認められ更なる成長を遂げる年になるやもしれません。逆に人知れず頑張ってきたこと、自身でも気が付かなかった意外な才能が一気に開花する年になるやもしれません。いずれにしてもナイス連にとっては花開く年になりそうです。

感謝・笑顔・ありがとうございます。

迎春

仲圀巢連 連長  
川辺 礼子

仲圀巢連 執行部発行  
編集者 大塚

■ナイス連のフェニーチェ特別公演／「次世代育成の物語」の完成

昨年も恒例となった「ナイス連特別公演」をフェニーチェ堺で無事行うことができました。これもみなさまのご支援のおかげです。ありがとうございます。ここではパネルディスカッションの形式で「次世代育成」についてお話をさせていただきました。8年前の創立10周年の時に初めて10年後を見据えてメモリアル倶楽部の構想と、その持ちネタ「HANA-SHOUBU」を作り上げる夢を語り、予定より早く一昨年、それが形となりました。私たちは三年間をかけて特別公演「昨日・今日・明日」の三部作でプレゼンした通り堺の郷土文芸とも言える連歌の会の催行、そして一つ上のすずめ踊りを踊るスペシャリティ倶楽部の創設に着手することになりました。

■熟女過激団の存在／「いつでもどこでも心の中にいる」って素敵ですよ

前回に引き続き特別公演では寸劇を取り入れて、今回はやっくんとシミちゃんに主演を演じてもらう朗読ミュージカルに挑戦しました。若い二人が前向きになろうとしてもうまくいかないとき、どこからともなく熟女過激団が現れ二人を励まします。「幸せだから、上手く行っているから笑顔になるのではないのよ。」「笑顔だから幸せになれるし、物事も上手くいくのよ。」と言ってナイス連を紹介します。このように心が折れそうになったとき熟女過激団はどこからとも現れて励ましてくれます。どんなことにも感謝できる、そんな気持ちを持ちなさい。誰かに助けられたら、他の誰かを助けてあげてください。笑顔を忘れず、優しい言葉をかけてあげてください。そして誰かを喜ばせましょう。熟女過激団はどこ誰かは誰も知りません。だってそれはあなた方一人一人の心の中にいる存在なのですから。でも私たちナイス連にとって、いつも寄り添ってくれる心の支えのような存在なのです。

■新しい演舞に向けて／中島みゆきさんの名曲「糸」に託して

今回HANA-SHOUBUの演舞に先立って、久米さん、晒谷さん、上山さん、片岡さんの4人で篠笛で糸を演奏していただきました。私たちナイス連は不思議な出逢いで仲間となりました。

「なぜめぐり逢うのかを、私たちは知らない」

「いつめぐり逢うのかを、私たちはいつも知らない」

と中島みゆきさんが歌う「糸」にその答えがあると私は考えました。

理由があってめぐり逢うのではない。出逢うべくして出逢った仲間なのです。

「和顔愛語」と「利他のこころ」がナイス連の活動理念です。

言い換えれば「笑顔と優しい言葉」そして「喜ばせごっこ」になります。

一つ一つは誰にでもできるとても簡単なこと。やってみれば自分の気持ちがウキウキしてくるのになぜ普段、これをしないのでしょうか？

この当たり前だけれど、とても大切なことを楽しくできる場がナイス連なのです。今日、また私たちはみなさんと出逢うことができました。

みなさん一人一人が縦の糸です。そして私たちが横の糸。

「織りなす布は、いつか誰かを温め得るかもしれない」

昨年最後の浅香山ふれあいフェスタでは、この「糸」に始まり、次世代グループの新演舞「青龍」を組み込んだ新しいHANA-SHOUBUをご披露することができました。

メモリアル倶楽部構想には理念に賛同する他の祭連のメンバーも加わっていただき、これからスペシャリティ倶楽部と一体となって邁進していきたいと思っております

今年もよろしくお祈いします

感謝



えがお

ありがとうございます

